

単元名 Unit 2 Food Travels around the World

配当時間 8時間

- 単元の目標 (1) 接続詞whenを用いた文の形・意味・用法を理解し、何かを行うときの時や条件を相手に伝えたり、好きな料理についての自分の考えとその理由を説明したりすることができる。
- (2) 日本や外国の料理について、自分の知っていることについての考えや事実などを相手に伝えることができる。また、料理や食文化の歴史や変化についての文章を読み取り、それに対する自分の考えを伝え合うことができる。
- (3) 好きな料理とその理由について説明したり、積極的に質問しようとしたりする。また、日本や外国の食文化やその歴史に関する文章について、自分の考えを書こうとする。

標準的な展開例

11250104_001

【準備等】 デジタル教科書、電子黒板、タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 Scene1 接続詞whenを用いた文の形・意味・用法について学習する。</p> <p>★時間のあるときに何をするかを伝え合おう。</p> <p>○ Previewを通して、分かったことを伝え合う。</p> <p>○ Scene1の本文を読んで、概要を読み取る。</p> <p>○ 接続詞whenを用いた文の形・意味・用法を知る。</p> <p>○ 接続詞whenを使って、ペアで会話をする。</p> <p>・ What do you usually do when you are free?</p> <p>2 Scene2 接続詞ifを用いた文の形・意味・用法について学習する。</p> <p>★さまざまな条件の下で、自分がどんな行動をするかを伝え合おう。</p> <p>○ 新出語句の確認・練習を行う。</p> <p>○ Scene2の本文を読んで、概要を読み取る。</p> <p>○ 接続詞ifを用いた文の形・意味・用法を知る。</p> <p>○ 接続詞ifを使って、ペアで会話をする。</p> <p>・ What do you want to do if it is sunny tomorrow?</p> <p>3 Mini Activity さまざまな活動を通して、接続詞whenやifを用いた文についての理解を深める。</p> <p>★自由時間の過ごし方について伝え合ったり、自分の町について紹介したりしよう。</p> <p>○ Listenに取り組む。</p> <p>○ Speak & Writeの課題に取り組む。</p> <p>4 Read and Think1 接続詞thatを使った文の形・意味・用法を学習する。</p> <p>★カレーの歴史の紹介文を読んで、その内容について話し合おう。</p> <p>○ 接続詞thatを使った文の形・意味・用法を知る。</p> <p>○ 練習問題に取り組む。</p> <p>○ 本文を読んで、分かったことを話し合う。</p> <p>○ 本文についての問いに答える。</p> <p>○ カレーの歴史や変化などについて、まとまりのある文章で説明する。</p> <p>5 Read and Think2(1) 接続詞becauseを使った文の形・意味・用法を学習する。</p> <p>★理由を示しながら、自分の考えを述べよう。</p> <p>○ 接続詞becauseの文の形・意味・用法を知る。</p> <p>○ 練習問題に取り組む。</p> <p>○ ペアになり、教師が示した題材についてbecauseの文を使って対話をする。</p>	<p>・ Previewを視聴し、分かったことをペアの生徒に伝えさせる。</p> <p>・ 本文の内容理解を通して、接続詞whenの用法についてつかませる。</p> <p>・ Practiceに取り組みせ、生徒の理解度を確認する。</p> <p>・ 会話のきっかけとなる疑問文などを提示するとよい。</p> <p>【評】 ペアでの会話活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 電子黒板やタブレット等を用いて、テンポよく行う。</p> <p>・ 本文の内容理解を通して、接続詞ifの用法についてつかませる。</p> <p>・ Practiceを通して、理解度を確認する。</p> <p>・ Plus Oneを活用するなど、対話の場面を設定して活動を行う。</p> <p>【評】 ある条件の下での自分の行動を伝え合う活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 必要に応じてメモを取るよう指示する。</p> <p>・ 生徒の理解度に応じて、発話量を増やさせてもよい。</p> <p>・ Tool Boxを活用させる。</p> <p>【評】 Speak & Writeの活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ 接続詞thatの文を写真などと同時に複数提示し、thatの役割に気づかせる。</p> <p>・ Practiceを通して、理解度を確認する。</p> <p>【評】 接続詞thatの用法についての練習問題を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 分かったことをペアの生徒に伝えさせる。</p> <p>・ Round1とRound2を通して、本文の内容を詳しく理解させる。</p> <p>・ Round3を通して、情報を整理させる。</p> <p>【評】 料理の歴史について説明する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ 写真とともに複数の文を提示し、becauseの役割に気付かせる。</p> <p>・ Practiceを通して、理解度を確認する。</p> <p>・ 対話の場面設定を分かりやすく提示する。</p> <p>・ 時間制限を設定し、対話を続けさせる。</p> <p>【評】 接続詞becauseの用法についての練習問</p>

<p>6 Read and Think2(2) 料理の歴史や変化についての文章を読む。 ★料理についての紹介文を読み、その内容について話し合おう。 ○本文を読んで、分かったことを話し合う。 ○本文についての問いに答える。</p> <p>○本文を通して学んだことをまとめる。</p> <p>7 Unit Activity おすすめのレストランについて紹介する。 ★おすすめのレストランをペアで紹介し合おう。 ○ペアにお気に入りのレストランを紹介する。 ○勧められたレストランについて書く。</p> <p>8 単元のまとめ 単元テストに取り組む。 ★学習事項をまとめ、単元テストに取り組もう。 ○単元テストに取り組む。 ○Unitの目標を振り返り、できるようになったことや今後の学習の課題を設定する。</p>	<p>題を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・分かったことをペアの生徒に伝えさせる。 ・Round1とRound2を通して、本文の内容を詳しく理解させる。 ・Round3に取り組ませる。 ・本文の要約をさせてもよい。 【評】本文から学んだことをまとめる活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・STEP1とSTEP2に取り組ませる。 ・STEP3に取り組ませる。 【評】レストランを紹介する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】単元テストを通して、接続詞の用法についての「知識・技能」を評価する。 【評】単元テストを通して、接続詞を活用させ「思考・判断・表現」を評価する。</p>
---	--

【 備 考 】
授業内で効果的にタブレットやQRコードを活用する場面を設定する。宿題や家庭学習等でそれらを効果的に活用するように促す。